

受付番号

R2-006-CR02

ドナーの皆様向け情報公開文書・通知文書

研究内容のご説明

ドナー説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	ヒト人工染色体ベクターによる iCAR-T 細胞治療の開発 (次世代型ヒト人工染色体ベクターによる CAR 交換型高機能再生 T 細胞治療の開発拠点)
研究期間	2020年12月24日 ～ 2026年3月31日まで
研究機関名	京都大学 iPS 細胞研究所
研究責任者氏名・職名	金子 新・教授

研究の説明

1 iPS 細胞ストック及びその情報の利用目的及び利用方法
(他機関へ提供される場合はその方法含む。)

私たちは患者さんが罹患されている疾患に対して、免疫担当細胞（T 細胞や樹状細胞など）を利用した新しい治療法を開発する研究を行っています。

本研究では、臨床用 HLA ホモ iPS ストック細胞、低免疫原性ユニバーサル iPS 細胞に高機能化因子を搭載したヒト人工染色体（HAC）ベクターを鳥取大学の独自特許技術を用いて遺伝子導入し、がん細胞を認識するキメラ抗原受容体（CAR）を目的に応じて載せ替える技術確立します。

まず、鳥取大学、東京薬科大学で iPS 細胞に目的のがん細胞を認識する CAR を搭載した HAC を導入します。この iPS 細胞を京都大学 iPS 細胞研究所（金子新研究室）に送付し、T 細胞に分化させます。

作成した T 細胞をがん細胞と共培養したり、がん細胞を移植したマウスに投与したりすることで薬効を確認します。

2 iPS 細胞研究財団から提供される試料・情報の項目

〔試料〕 iPS 細胞ストック

〔情報〕 ドナーの HLA 情報、感染症検査結果、性別、年代、血液型、
iPS 細胞の HLA 情報、核型検査結果、遺伝子解析結果

3 iPS 細胞ストック等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

鳥取大学
香月 康宏・教授

東京薬科大学
富塚 一磨・教授

4 ドナー又はその代理人の求めに応じた、iPS 細胞ストックの利用または他の研究機関への提供の停止について

iPS 細胞ストック研究にご協力いただいた場合、iPS 細胞が作製される以前であれば、研究参加に同意いただいた後でも、不利益を受けることなく、文書により同意を撤回することができます。

iPS 細胞が作製された後に同意を撤回される場合、それ以降はあなたの iPS 細胞を外部の研究機関へ提供しません。ただし、その場合でも、これまでに提供した細胞は引き続き使用される可能性があります。また、既に開発が進んでいる場合は、患者さんへの影響を考え、中止することができません。どうかご理解のほどよろしくお願い致します。

5 4のドナー又はその代理人から、同意撤回を受け付ける方法

まずは、下記へご連絡いただき、後ほど同意撤回文書を CiRA_F まで提出ください。

〔お電話の場合〕 iPS スtockドナー専用ダイヤル 075-366-7181

〔メールの場合〕 participant@cira-foundation.or.jp

〔受付時間〕 平日 10:00~17:00

本研究に関する問合せ先

所属	京都大学 iPS 細胞研究所 金子研究室
担当者	金子 新
住所	京都府京都市左京区聖護院河原町53
電話	075-366-7167
Mail	kaneko-g@cira.kyoto-u.ac.jp